

名古屋大学 講演・「減災館」視察ツアー

講演

13:00～14:00

「次の震災について本当のことを話してみよう。」

講師 **福和伸夫**氏

(名古屋大学減災連携研究センター長・教授)



1981年名古屋大学大学院修了後、81年清水建設（株）、91年名古屋大学工学部助教授、97年先端技術共同研究センター教授、01年環境学研究科教授を経て、2012年より現職。

建築耐震工学、地震工学、地域防災などの教育・研究に従事。

文部科学大臣表彰科学技術賞、防災功労者・防災担当大臣表彰、日本建築学会賞、日本建築学会教育賞、地域安全学会技術賞、災害情報学会廣井賞、日本免震構造協会技術賞を受賞

内閣府防災・南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループ、内閣府科技・次世代インフラ戦略協議会、地震調査研究推進本部・政策委員会、文部科学省・防災科学技術委員会、国土交通省・社会資本整備審議会、気象庁・長周期地震動に関する情報検討会、愛知県・地震対策有識者懇談会、名古屋市・防災条例の見直しと防災施策の推進に関する有識者懇談会、緊急地震速報利用者協議会、愛知建築地震災害軽減システム研究協議会など、府省庁や東海地方の自治体の防災施策に携わる。

減災連携研究センターの設立、減災館の建設、振動実験教材・ふるるの開発、防災人材の育成、各地での防災啓発活動などを通して、災害被害を軽減する国民運動に注力。著書：次の震災について本当のことを話してみよう。（時事通信出版局）

視察

14:00～15:00

名古屋大学
「減災館」見学

産学官民の連携により減災社会の実現を目指す、地域の防災拠点の一つ。自家発電・太陽光発電装置を備えた免震建物であり、平時は防災・減災に関する最先端研究や市民に開かれた学びの場、大規模災害発生時は名古屋大学や地域の災害対応の拠点として活動する。また、地盤のモニタリングシステムや大振幅長期周期の揺れを再現する実験施設などを備え、全館が建築耐震技術の開発と実験の場となっている。<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/>



日 時 **8月21日**（火）焼津駅8:00出発、18:30帰着予定（観光バス利用）

参加費 無 料

定 員 40名（申込多数の場合は抽選）

申 込 FAX又は電話でお申し込みください。

焼津商工会議所 海野・岡田 FAX 054-628-6300 TEL 054-628-6251

締 切 **6月29日**（金）

※締切後、申込者へは決定通知を送付します。

その他 昼食は、名古屋大学学食で各自負担の上、とっていただきます。

FAX：054-628-6300

事業所名		電話	
参加者名	年齢	歳	FAX
		歳	

※年齢（平成30年8月21日現在）は、バス保険に加入に際して必要になります。

※ご記入頂いた情報は、本視察事業の目的以外には使用しません。